

中央大学支部 中大技術士会

ニュースレターvol.29

会員の皆様へ

明けましておめでとうございます。早いものであつという間に 2016 年が幕開けされてしまいました。本年は丙申にあたり、これまでの頑張りが形になって行く年になるそうです。会員の皆様と中大技術士会の発展を目指して頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

昨年は消費税軽減問題やマイナンバー制度など、世の中に様々な変動があり、例年になく慌ただしい年でした。その中で行われた都市環境学科での「技術者倫理の授業」、技術士第一次試験の合格率が中大が全国でトップになったことなど、我々の活躍が大きく繁栄できた年だと思っています。

本会では会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ(<http://www.chuo-u-pej.org/>)から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してみてください。それではニュースレターをお楽しみください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「平成 28 年を迎えるにあたって」：中大技術士会 会長 内藤 堅一	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 幹事会	3 ページ
■ CO2 環境対策技術研究会	3 ページ
■ 部会報告	4 ページ
■ 大学技術士会連絡協議会 第 8 回 報告	5 ページ
■ 「速報」技術士第一次試験 中央大学在学学生 117 人合格で 2 年連続第 1 位！	6 ページ
■ 「第 24 回 中央大学 ホームカミングデーへの出展」	7 ページ
■ 「49TH 中央大学理工白門祭への出展」	7 ページ
活動計画	9 ページ
■ CO2 環境対策技術活動計画	9 ページ
■ 企画部会活動計画	9 ページ
■ 大学支援部会活動計画	9 ページ
エッセイ	10 ページ
■ 「私の厄年」：大澤 勇さん（機械部門）	10 ページ
■ 「複雑な身体動作を解析する」：篠崎博文さん（機械部門）	11 ページ
技術士第一次試験合格者から	12 ページ
■ 「技術士第一次試験に合格して」笹岡 里衣さん（建設部門）	12 ページ

■ 「平成 28 年を迎えるにあたって」：中大技術士会 会長 内藤 堅一（建設部門、総合技術
監理部門）

平成 26 年 5 月 31 日の総会で会長に就任してから、やがて 2 年になります。この間に大学との連携も深まり、中大技術士会の活動は良い方向に推移していると思いますし、良い結果もついてきました。

昨年 1 年間で特筆すべきことは、技術士第一次試験で、2 年連続で在学生の合格者数が全国の大学の中で 1 位になったことです。平成 26 年の一次試験で初めて大学 1 位になったのですが、今度は追われ



る立場になりましたが、中央大学と在学生及び中大技術士会関係者の頑張りによって 1 位の座を維持できたことは本当に嬉しいことです。中央大学理工学部の学部長はじめ関係する先生方のご協力を得て、在学生に対する技術士ガイダンスの実施とその後模擬試験を実施した結果が結実したと考えています。一次試験合格者の皆さんが 4 年の実務経験を経て、技術士第二次試験に合格することを願い、中大技術士会への参加を勧めているところです。多くの仲間が増えることは誠に喜ばしいことです。

昨年の中央大学の動きの中で理工学部に関係する事項として「中央大学中長期事業計画」の発表があります。一般紙にも報道されたのでご存知の方も多いと思いますが、その課題などを述べたいと思います。昨年 10 月 25 日（日）に開催されたホームカミングデーで「中央大学中長期事業計画」が深澤理事長から発表されました。この中の一つに、二大キャンパス体制の形成という項目があり、後楽園校舎に法学部と法科大学院を持ってくるというものです。完成目標は 2022 年ということですが、理工学部に大きな変化が生じます。

移転計画の詳細はこれから詰めるということですが、理工学部長にお聞きしても詳細は決まっていないとのこと。法学部の学生数は、理工学部の学生数より多く、教授の数は理工学部の方が多という話を伺いました。現在の後楽園校舎は新 2 号館を建設する時に建蔽率、容積率から旧 2 号館の敷地は建物を建てられないのでテニスコートにしていると聞いています。色々な噂もありますが、施設の増築や両学部が共存するためには、相当の知恵が必要になるでしょう。

もう一つ東京オリンピックに向けた新国立競技場に関する話題です。現在 A 案、B 案が公表された状況ですが、この両案に共通しているのが渋谷川の再生です。これは前述のホームカミングデーで理工学部都市環境学科の山田正教授と人間総合理工学科の石川幹子教授が対談された時に披露された構想です。渋谷川は江戸時代に玉川上水の余水掃きであったという話もありました。現在の多摩川上水は下水道の処理水が流れていますが、多くの課題を克服してこの構想が実現することが望まれます。中大技術士会としても、何らかの形で参加させて貰いたいと考えています。

以上昨年の中大技術士会活動と中央大学の状況について、概観しましたが、平成 28 年を迎えるに当たり、新年の抱負を少し申し述べたいと思います。

平成 28 年は、在学生の技術士第一試験の合格者数、全国大学 1 位を継続することは勿論ですが、法曹会や公認会計士会との連携を強化する中からも新しい活動の場が広がるように取り組んでいきたいと思っています。中央大学学員会の中でも中大技術士会の存在感を高めていきたいと思っています。更に後楽園校舎の中長期計画にも、渋谷川の再生にも関与できればと考えています。

以上

■ 幹事会

本会では概ね月に1度幹事会を行い、各行事の計画や方針などについて話し合っています。

通常、中央大学駿河台記念会館の学会役員室か会議室で行います。役員、幹事以外の会員の皆様にも参加していただけます。是非一度参加していただき、ご意見などお聞かせください。役員・幹事一同お待ちしております。下記に幹事会の内容を報告します。

幹事会活動報告 (文中敬称略)

行事名	開催日程	活動概要
平成 27 年度 第 6 回幹事会	10 月 7 日 (水) 18 : 00 ~ 19 : 15 中央後楽園キャンパス 6421 教室	<ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 ・各部会報告 (1)西川氏へ新幹事として今後の参加を依頼した。 (2)総務部会 名簿管理を次期管理担当が決まるまで当面志田氏に依頼する。 (3)企画部会 <ul style="list-style-type: none"> ・理工白門祭は 6 号館 1 階にブースを出す。参加者のリストは武安企画部長から要請する ・平成 27 年度第 2 回講演会の参加者要請を決めた。 ○学会と南甲クラブへは林幹事長担当とする ○CO2 環境対策技術研究会へは内藤会長が担当する。 ○ホームページへの掲載は小林副会長が行う。 (4)広報部会 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター No.29 へ中尾幹事の「技術者倫理」を掲載予定である。 ・ニュースレターの原稿は各号の編集担当者に送ることを確認した。 (5)次回幹事会は 12 月 9 日、学会会会議室で行う。

■ CO2 環境対策技術研究会活動報告

行事名	開催日程	活動概要
第 23 回研究会 見学会参加者 17 名 交流会参加者 14 名	H27 年 10 月 20 日 (火) 12 : 00 ツクバエクスプレ ス「柏の葉キャンパス」 駅集合 見学・説明 13 : 30 ~ 16 : 00	千葉大学植物工場の見学 交流会 : 16 : 30 ~ 19 : 30 柏「庵蔵」
H27 年度第 1 回幹事会 出席者 7 名	H27 年 10 月 29 日 (木) 18 : 30 ~ 20 : 00 中大後楽園校舎 5310 号室	第 23 回研究会 (千葉大植物工場) の報告 第 24 回研究会の企画 刈方を候補とする

行事名	開催日程	活動概要
H27 年度第 2 回幹事会 出席者 4 名	H27 年 12 月 3 日 (木) 18:30~20:00 中大後楽園校舎 5310 号室	第 24 回研究会の企画 (クリクラ) の応募状況 第 25 回研究会の企画金町浄水場を第 1 候補とする。

■ 部会報告

企画部会活動報告

項目	内容
ホームカミングデー	日時：2015 年 10 月 25 日 (日) 会場：多摩キャンパス 「無料技術相談会」として出展
理工白門祭	日時：11 月 1 日 (日) ~3 日 (火) 会場：後楽園キャンパス 6 号館 1 階ロビー 「無料相談会」として出展
中大技術士会 H27 年度第 2 回講演会	日時：2015 年 11 月 26 日 (木) 18:00~19:50 会場：後楽園キャンパス 6 号館 6701 教室 参加者：34 名 講師：中央大学理工学部 都市環境学科 山田正 教授 講演：「ゲリラ豪雨や洪水等の水災害から生活や安全を守る ー河川決壊事故のメカニズムや降雨流出現象の解析についてー」
第 9 回テクノロジー懇談会	日時：2015 年 12 月 7 日 (月) 18:00~19:30 会場：後楽園キャンパス 3 号館 3907 教室

広報部会活動報告

項目	内容
サーバー運営	メールリストおよび Web 名簿のメンテナンス実施
ニュースレターの発行	ニュースレター vol.29 作成、発行
HP 新規掲載	① ニュースレター vol.28 の掲載 ② 第 2 回中大技術士会講演会開催案内掲載 ③ CO2 環境対策技術研究会第 23 回研究会報告掲載
その他	・サーバーの更新手続き実施
会員の皆様へのお願い	① 就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org ② ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。 近況報告、受験体験談、2020 年東京五輪への期待、何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。

大学支援部会活動報告

項目	内容
「技術者倫理」講義	2015 年 12 月 16 日までに 12 回の講義が終了しました。
大学技術士会連絡協議会 第 8 回	2015 年 11 月 9 日 (月) 15:00~18:30 大学技術士会連絡協議会に参加した。

■ 大学技術士会連絡協議会 第8回 報告

中大出席者：内藤会長・林幹事長・鈴木幹事・坂林和重

1. 開催日時：平成 27 年 11 月 9 日（月）15：00～18：30
2. 場所：（公社）日本技術士会 荳手第 2 ビル 5 階 C、D 会議室
3. 開会あいさつ---大技連世話人 稲門会技術士会 岡 孝夫 副会長

第 8 回大技連総会の開会宣言された後式次第に従った総会プログラムの説明があった。また、今年度の新規加盟の近畿大学、中部大学の各技術士会の紹介がされ大技連加盟校は 25 校となった事が紹介された。

4. 来賓あいさつ---（公社）日本技術士会 高木譲一専務理事

昨年は、裁判事例で技術訴訟の判定に「技術士を使うように」との判断で 10 余名の技術士が協力した。

また、増殖炉「もんじゅ」の問題も取り上げられているが以前関与した時にも技術士の必要性を提起したことがある。

5. 大技連メーリングリストについて

桜門技術士会 関事務局長から大技連における電子会議／メーリングリストを <http://www.ipeec.cumon.com/member/> に大技連会議室として設置しているが、大学のサーバーを使って桜門技術士会が費用負担している。ついては、各大学技術士会も費用負担を年額 5,000 円をお願いしたいとの申し入れがされた。この件については、利用頻度が低く、運用方法・メリットなども不明である。今年度は、使用開始を見合わせとした。

6. 講演会---（公社）日本技術士会 修習技術者支援委員会 河村智委員長

演題「修習技術者支援委員会の活動について」の講演がされた。

7. 新入会員の挨拶

近畿大学技術士会：杉本哲雄会長

中部大学技術士会：山田公夫会長の挨拶があった。

8. （公社）日本技術士会と各大学技術士会との相互協力協定について

平成 26 年に日本技術士会の総務委員会で理事会に報告された協力協定であるが、現在京都大学技術士会、拍門技術士会、近畿大技術士会、千葉工業大学技術士会が協定を締結している。また、具体的な活動は、行なっていないとのことである。日本技術士会の見解に「技術士試験の受験指導を組織的な事業や活動として実施している大学技術士会との協定締結は、地域組織の役員の責務に関する手引き制定時の議論等から、適当でない」とのコメントある。25 大学技術士会の残る 21 の団体も、検討中の所が多いようである。

9. その他

- 1) 京大、阪大、東北大の技術士会が連携して、交代制で講演などのイベントを計画中であることが紹介された。
- 2) 芝浦技術士会で 11 月 14 日（土）に第 6 回 CPD 講演会開催を紹介。
- 3) 中大技術士会で 11 月 26 日（木）に講演会の開催を通知
- 4) 25 大学技術士会の活動アンケート

10. 親睦会

参加各大学技術士会会員の相互交流として親睦会が行われた。



■ 「速報」技術士第一次試験 中央大学在学学生 117 人合格で 2 年連続第 1 位

技術士第一次試験の速報が届きましたのでお知らせします。

順位	大学名
1	中央大学 (117 人合格)
2	日本大学
3	京都大学
4	早稲田大学

2015 年の中央大学成績

中大の全受験人数 353 人

【内訳】在学学生 183 人受験（院生 33 人、学部生 150 人）、卒業生 170 人受験

中大の全合格人数 192 人

【結果】在学学生 117 人合格、卒業生 75 人合格 合格率は学生 64%で社会人 44%

【他校比較】合格人数：中大 117 人(第 1 位)、日大(第 2 位)、京都大学(第 3 位)、早稲田大学(第 4 位)、2014 年に引続き中央大学は、2 年連続で国公立大学在学学生の第 1 位となった。(社会人を含めると第 7 位(192 人合格)、日大・京大・東大・早大・九大・北大・中大・大阪大)

■ 「第24回 中央大学 ホームカミングデーへの出展」

10月25日（日）に多摩キャンパスにおいて、恒例のホームカミングデーが開催されました。

中大技術士会は、「無料技術相談会」として法曹会など他の学会支部とブースを並べて出展を行いました。今年は天気にもめぐまれ、多摩キャンパスには多くの学員が集まりました。

ホームカミングデーでは、毎年学会の各支部が支部旗を持って集合する「中央の絆」というイベントをメイン会場にてイベントの最後に開催していましたが、今年は時間と場所が変更になり、午前中にクレセントホールで開催された開会式に続けて行われました。



写真1 クレセントホールで開催された「中央の絆」
中大技術士会の旗は、画面左上方にあります

今年は東京オリンピック・パラリンピック記念企画として、理工学部 都市環境学科の山田正教授と人間総合理工学科の石川幹子教授による「東京が動く～白門力で東京再生を～」というテーマで講演と対談が行われ、江戸の歴史遺産である玉川上水への取組みと新国際競技場の建設に水循環都市モデルを実現する取組についての講演と対談には、多くの学員が8号館の会場に集まり、熱心に話を聞いていました。

中大技術士会ブースでは、スターリング・エンジン等の展示を行うとともに、来訪者に「技術士」についての説明を行いました。また、午後には石井靖理工学部長も中大技術士会ブースに立ち寄られました。



写真2 中大技術士会ブース

■ 「49th 中央大学理工白門祭への出展」

理工白門祭は、11月1日（日）から3日（火）の3日間に渡って開催され、中大技術士会は例年通り6号館1階ロビーに「中大技術士会無料相談会」として出展を行いました。

今年の理工白門祭は、2日目は天気が悪く、しかも平日だったため来校者が少なくなりましたが、1日目と3日目は天気も良く、多くの来校者が後樂園キャンパスに訪れました。

白門祭の受付横に設置する立看板は、昨年の技術士第一次試験において、在学生の合格者数で中央大学が全国第1位となったため、それをアピールできるように作りました。

中大技術士会ブースでは、今年もメガケム社より借用した、スターリング・エンジン、燃料電池自動車及びガラスシリンダーエンジンの模型の展示を行いました。来校された一般の方に足を止めていただくのに、たいへん役立ちました。

理工白門祭への出展は、他大学の学生や一般の方の中で「技術士」をまだ知らない方も多いため、「技術士」をアピールする場として重要な場になっています。また、中大生の中にもまだ「技術士試験」を知らない学生がいることがわかり、今後も学内へのアピールを続けていくことが必要と感じました。

最近の理工白門祭を見ても、学生企画が少なくなってきていますが、屋台企画はさらに少なくなってきていて（今年の屋台は9企画のみ）、「お祭り」からは方向が変わってきています。

逆に増えているのが研究室企画で、各研究室で行っている内容を学内外に説明するのが目的ですが、研究室企画は校舎の中でひっそり行っているため、全体的には静かな学園祭になってきていて、昔の学園祭と比較すると少し寂しくなっているように感じられます。



写真1 立看板



写真2 中大技術士会ブース

活動計画

■ CO2環境対策技術研究会活動計画

行事	日程	内容
第24回研究会	H27年12月23日(水祭日) 13:00 小田急線「鶴川」駅 集合 見学・説明 14:00~15:15	クリクラ町田工場、中央研究所の見学 交流会: 16:00~18:00 町田駅「創作ダイニング夜の宴町田店」
H27 第3回幹事会	H28年1月21日(木) 18:30~20:00 中大後樂園校舎 5310 号室	第24回研究会(クリクラ)の報告 第25回研究会の企画 金町浄水場を候補とする

■ 企画部会活動計画

行事	日程	内容
法曹会との交歓会	2016年2月15日(月)の 予定	今年は法曹会が幹事担当のため、法曹会で企 画中

■ 大学支援部会活動計画

行事	日程	内容
「科学技術と倫理」講義	2016年6月7日(火) 6月14日(火)	岩瀬、西川両氏が、ゲストスピーカーとして、 全学科の1年生を対象に講義を行います。
技術士第1次試験の受験 ガイダンス	日時: 1月16日(土) 4 時限目(14:40 から 30分 ~40分程度の時間)	授業科目: 「物理と社会」 必修科目 中央大学物理学科: 杉本秀彦先生 日時: 1月16日(土) 4時限目(14:40 から 30分~40分程度の時間) 教室: 5234号室 履修者数: 112名 対象: 主に物理学科2年生 (他学科履修の学生が40名程度)
「技術者倫理」講義	2016年1月6日(水) ~ 1月20日(水)	平成27年度の残り3コマの講義が行われます (國島、伊藤、林講師)
「技術者倫理」講義	未定	平成28年度も14人の兼任講師を派遣しま す。(林講師が退任され新講師は、大島講師と なります)

今回は幹事の大澤 勇さんから投稿があります。会員の皆様からの投稿をお待ちしています。

■ 「私の厄年」：中大技術士会幹事 大澤 勇（機械部門）



昨年は私にとって厄年であった。糸球体腎炎(膜性腎症)が原因のかなり重症のネフローゼ症候群になり、2月中旬から40日間程腎臓内科に入院を余儀なくされたからである。私のネフローゼ症候群は、腎臓の機能が低下し血液中のタンパクバランスがみだれ、体がだるく、むくみも出たのである。このむくみが私の場合半端でなかった。

皆さんは観光地のおみやげ屋で、イラストのようなタヌキの置物を見た事がないだろうか。このタヌキは大きな陰囊をしている。変な例えで恐縮だが、私も足はもちろん、陰囊までむくんだのである。入院時はこの陰囊がジャマになりガニマタで歩いていた程である。体重測定の結果から主に下半身に13リットルの水分がたまっていたのである。むくみが完全に引くまで4ヶ月かかった。

退院後向う2年間、食餌管理と腎臓の炎症を抑える炎症抑制剤と免疫抑制剤の投与が行われる。退院できても『さあ退院だ、旨いものを腹いっぱい食べに行こうか』といかないところが、内臓病のつらい所である。



私が投与を受けている免疫抑制剤(ステロイド)がまた難物なのである。この薬は各種の副作用が発生する。私の場合副作用を抑える薬と、もともと服用していた持病用とを含め毎日9種類20錠と大量の薬を服用するはめになったのである(退院直後は25錠だった)。薬は可能な限りジェネリック薬剤を使っているが、その額もばかにならない。その上、自己免疫が低下しているので、感染症にかかると重症化する。

薬服用中は人混みにはなるべく出るなどの医師の指示である。そのような訳で、技術士会の方は全くサボってしまっている。大変申し訳ないが御容赦願いたい。

病氣療養中暇なので、貝原益軒が83歳で書いたと言われる『養生訓』でも読んでみようと思っている。写真のような原文ではなく、もちろん現代語訳をである。病を得た後で養生についての教訓を得たところで、遅きに失するのだが。病の徴候は約1年間単身赴任していた深谷市岡部浄水場増設工事の監理技術者の任が明けて1ヶ月後に現れた。仕事の節目でやれやれとホットした時である。皆さんもこの様な節目で、少し楽をしようかな、と思う時は御注意を！『じわじわと間合いをつめた生活習慣病は、そのような油断について打ち込んでくる・・・』時代劇のチャンバラではあるまいし、そんなことはないのだが。病は寛解(見かけ上軽減安定しているが、再発の可能性もある場合に用いる用語だそうです)状態だ。今年は少し緊張感をもって生活し、病に打ち込まれないようにしたいと思っている。

■ 「複雑な身体動作を解析する」：中大技術士会幹事 篠崎博文（機械部門）

大澤幹事のエッセイからも分かるように、最近生活習慣病や原因不明の体調不良が多いのが現状です。私の整体にも

「病院に行ったけど異常がないと片づけられてしまった。でも辛くて仕方ない、どうしたらいいのでしょうか？」

など涙ぐましい相談が多数あります。現代医学では解明できない様々な疾患があることを裏付けています。そしてこれらの原因を「骨盤のひずみ」と決めつけ「矯正すれば良くなる！」と宣伝する治療院も少なくありません。

「骨盤矯正」

皆様も一度は耳にしたことがあるはずです。実はこれがくせ者のようです。一部では

「民間療法の人達が勝手に作り出した、医学的根拠が全くないいい加減な療法！」

との批判も出ています。残念ですがある程度当たっているのも事実です。しかし整体師兼技術士でもある私は、医療界の批判を黙って聞いているほどお利口ではありません。

「医学的根拠が無いのなら工学的根拠を作ってやる！」

と骨盤運動の測定解析を続けております。



橋本研(理工学部電気電子情報通信工学科)で開発されたジャイロセンサーとその装着状態

骨盤動作をジャイロセンサーで測定解析すると、意外の事が分かってきました。女性の動作が非常に複雑なのです。生殖器の違いから女性の骨盤は広く、球体に近い形になっています。

「これが複雑な動作に関係しているのでは？」

とも考えています。



現在実施されている足踏み運動と骨盤ヨーイング動作試験

この件について理工学部精密機械工学科の中村太郎先生が「不思議な現象だ？」と言われていたのをはっきり覚えています。

「股関節が開かない。」「腰と足が痛い。」「椅子にうまく座れない。」

等の原因を工学的に診断できれば、私にとってこれほど嬉しい事はありません。しかしかなり複雑な解析計算が必要になり、パソコンがフリーズしてしまうこともあります。今後どのように測定し、どのような解析法が必要か？たくさんの課題がありそうです。

新しい身体動作の測定解析に、今後も中大技術士会の方々のご意見ご指導を参考にさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

技術士第一次試験合格者から

このコーナーでは、技術士第一次試験合格者の方に受験の動機、勉強方法、技術士への思い等について書いていただいています。今回は、理工学研究科都市環境学専攻修士2年生在学中の笹岡里衣さんの体験談です。

■ 「技術士第一次試験に合格して」：笹岡 里衣さん（建設部門）

平成25年度に技術士第一次試験（建設部門）を受験し、合格いたしました。今回は、受験にいたるまでの経緯、学習方法、そして受験を終えての感想と今後の抱負を書かせていただきます。



1. 受験にいたるまでの経緯

まず、なぜ受験しようと思ったのか、理由はいくつかあります。インターシップや現場見学会等で、第一線で活躍されている土木技術者とお話しさせていただく際、多くの方の名刺に「技術士」という文字がありました。この時、直観的に「格好いい」と思ったのが、1番最初のきっかけです。しかし、お恥ずかしい話ですが、当時は技術士の重要性についてはあまり知らずにいました。その後、都市環境学科4年次の「技術者倫理」という講義で、技術士の資格の価値を知りました。また、大学4年ということもあり、これまで学んだ総復習にちょうど良いと考え、技術士を受験することを決心いたしました。

2. 学習方法

技術士第一次試験を受験することを決心してからは、夏休みに集中的に学習しました。私の場合は、過去問→問題集→過去問という流れで10月の本番に向け調整していきました。詳しく述べますと、まず、第一次試験がどのような形式で出題されるのか（さえ）知らなかったので、1年分の過去問を解き、出題形式を知るとともに、自分の弱点を把握しました。第一次試験は基礎科目、適性科目、専門科目から成りますが、専門科目を重点的に学習する必要があると思います。私は市販の問題集を利用し、苦手分野の克服を図りました。その際、技術士を受験する理由の1つが大学4年間の総復習でしたので、問題集をただこなすだけでなく、まとめノート(写真-1)を作成し、知識を深めていきました。この甲斐あってか、本番は初見の問題も焦ることなく解くことができました。専門以外の基礎、適性科目に関しては、通学時間などに過去問で対策しました。適性科目に関しては時事ネタも出題させるので、日ごろから科学系のニュースをチ

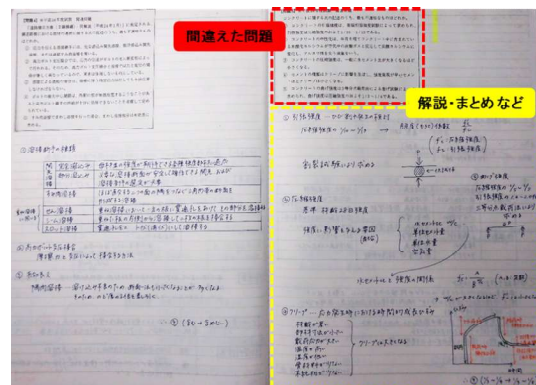


写真-1 まとめノート

チェックしておくといいかもしれません。

3. 受験を終えての感想と今後の抱負

受験時、弱点をまとめたノートは3冊となりました。土木工学のほぼすべての分野を集中的に学習したことにより、それまで断片的だった知識が関連付けられ、土木工学の魅力をさらに感じるようになっていました。私にとって、技術士第一次試験は、資格を得る以上にとても有意義な機会となりました。合格発表は日本技術士会のHPで確認しましたが、ドキドキしながら番号を一つずつ追ったこと、そしてようやく見つかった時の達成感と喜びは、いまでも忘れられません。

現在、私は3月の修了に向け液状化現象に関する研究に取り組んでいます。そして、来春からは建設会社で土木技術者の道を本格的に歩み始めます。まずは、建設会社の仕事を知り、たくさんの方の経験を積みたいと考えています。そして、少しでも早く、私の名刺にも「技術士」という文字が記載されるように努力する所存です。もちろん、表面だけでなく多くの人々から信頼される土木技術者となり、社会に貢献したいと考えています。

最後になりましたが、私自身の視野を広げてくださり、またこのような機会を設けてくださった中大技術士会の皆様に感謝申し上げます。

ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 ⇒ toiawase@chuo-u-pej.org
2016年1月号 中大技術士会 広報部会 発行